

近畿支部管内における火薬類に係る事故発生状況

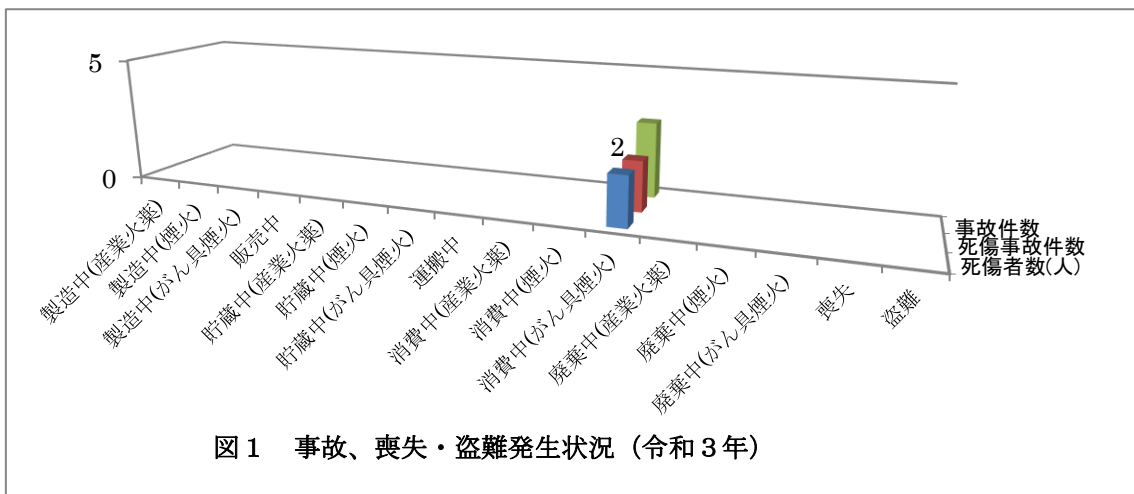
令和4年4月

中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課

表1 火薬類種類別事故発生件数及び死傷者数

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	平成31年 令和元年	令和2年	3年	合計
<b>消費中</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>73</b>
産業火薬		1(0-0)		1(0-2)		1(1-0)	1(0-0)	1(0-0)			5(1-2)
煙火	2(0-2)	3(0-0)	7(0-6)	2(0-0)	6(0-0)	6(0-1)	1(0-0)	4(1-0)	3(0-0)		34(1-9)
がん具煙火		4(0-0)	2(0-1)	2(0-1)	3(0-1)	4(0-2)	8(0-2)	5(0-3)	3(0-2)	3(0-2)	34(0-14)
<b>製造中</b>		<b>2</b>									<b>2</b>
産業火薬		2(0-1)									2(0-1)
煙火											
がん具煙火											
<b>貯蔵中</b>				<b>1</b>							<b>1</b>
産業火薬											
煙火				1(0-0)							1(0-0)
がん具煙火											
<b>廃棄中</b>					<b>1</b>						<b>1</b>
産業火薬					1(0-1)						1(0-1)
煙火											
がん具煙火											
<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>77</b>
産業火薬		3(0-1)		1(0-2)	1(0-1)	1(1-0)	1(0-0)	1(0-0)			8(1-4)
煙火	2(0-2)	3(0-0)	7(0-6)	3(0-0)	6(0-0)	6(0-1)	1(0-0)	4(1-0)	3(0-0)		35(1-9)
がん具煙火		4(0-0)	2(0-1)	2(0-1)	3(0-1)	4(0-2)	8(0-2)	5(0-3)	3(0-2)	3(0-2)	34(0-14)
※( )内は、(重傷者数-軽傷者数)。											
<b>喪失</b>					<b>1</b>				<b>1</b>		<b>2</b>
<b>盗難</b>											<b>0</b>

1. 令和3年事故、喪失・盗難発生状況

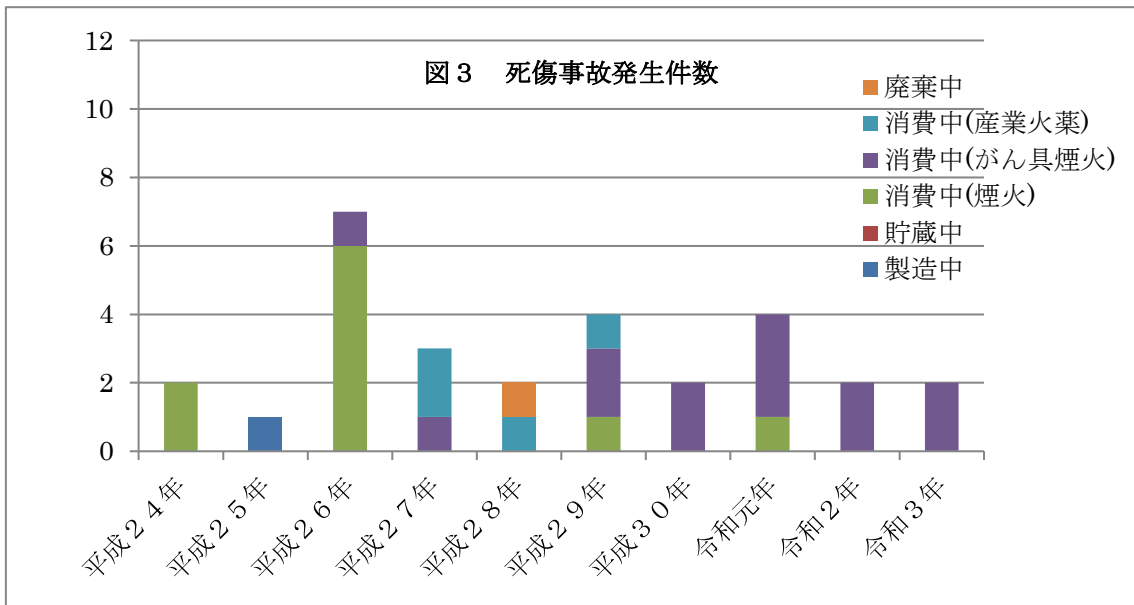
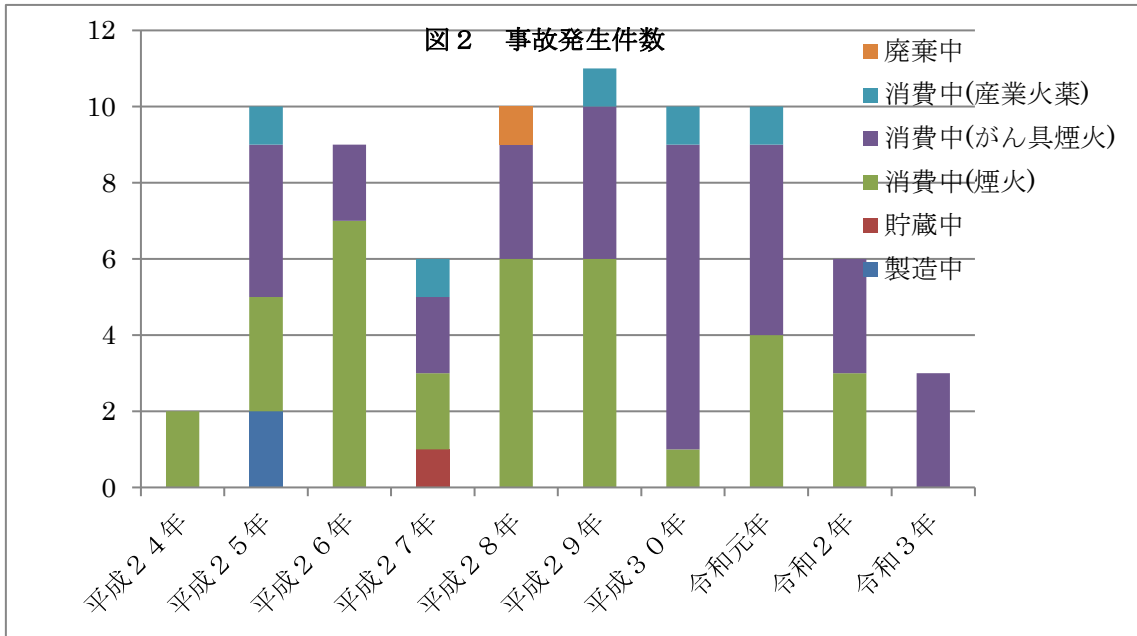


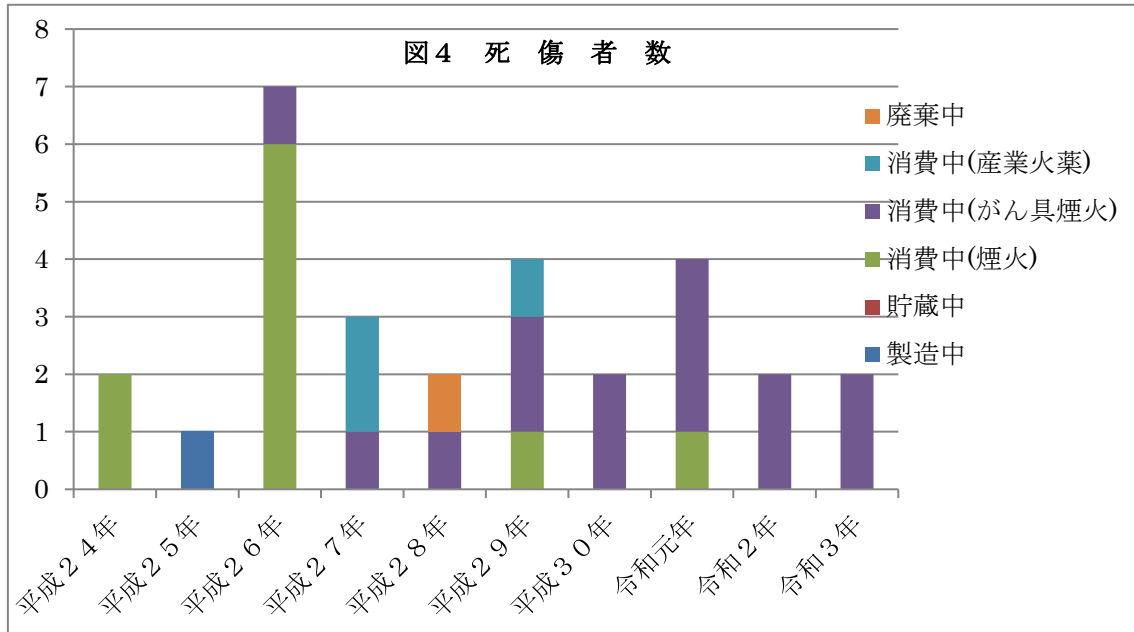
近畿管内（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）における令和3年の事故発生件数は、3件（前年比△3件）であり、全てがん具煙火消費中の事故であり、負傷事故が2件発生（前年比±0件）し、軽傷者2名（前年比±0名）となっている。

負傷事故は2件とも手持ち花火の火花による火傷であり、もう1件は煙タイプの駆除剤による火災（立木焼損）である。

令和3年には喪失及び盗難は発生していない。

## 2. 過去10年間における事故、喪失・盗難発生状況





近畿管内における平成24年から令和3年における事故発生件数は、77件であり、取扱別では、消費中73件(94.8%)、製造中2件(2.6%)、貯蔵中1件(1.3%)、廃棄中1件(1.3%)となっている。

種類別では、消費中は、煙火34件、がん具煙火34件、産業火薬5件であり、製造中は産業火薬2件、貯蔵中は煙火1件、廃棄中は産業火薬1件となっている。

これらのうち、死傷事故件数は26件で、死傷者数は29名(死亡0名、重傷2名、軽傷27名)である。

煙火の負傷事故は、花火の残渣が見物人にかかり負傷したものが多く、平成26年の煙火の負傷事故罹災者6名中、3名が花火大会で残渣が頭部と左膝、右目、左膝に当たり熱傷したものである。

煙火の消費中に残渣が枯れ草等に着火し火災となったものや黒玉が発生している。

がん具煙火の負傷事故は、手持ち花火を使用中、火花が衣服に着火しやけど(軽傷)したものが発生している。

がん具煙火の消費中に火花が枯れ草等に着火し、火災となった事故が多く発生している。

産業火薬の事故・負傷事故は消費中の飛石によるものが発生している。

